

Mi Vida en México

新学期が始まり、新しいクラスメイトと先生の前で楽しい時間を過ごせています。日本は大寒波の影響で雪が積もったというニュースを聞きましたが、メキシコでは最高気温 20 度超えの毎日。学校の教室は寒いので、上着が必要ですが、日に当たると半袖で過ごせるという 1 月とは思えない快適な気候です。

CEPE のクラス

私が通っている語学学校 CEPE は、nivel (レベル) 0～8 のクラスに分かれており、現在、私は nivel 3 のクラスで勉強しています。

CEPE に入る前に、レベル分けのテストがあり、自分にあったレベルのクラスで勉強できます。授業とクラスメイトとの会話は、全てスペイン語で行われ、クラスメイトも自分と同じレベルなので、ミスを恐れることなく、互いに教え合いながら、会話をすることができています。

レベル分けテストの結果によって変わりますが、1 クラスあたりの人数は 10 人前後。私のクラスである nivel 3 は、13 人います。国籍もそれぞれ違って、私のクラスは、日本、韓国、中国、台湾、フィリピン、インド、ウクライナ、トルコ、ドイツ、フランス、アメリカというように、多国籍なクラスです。また、クラスメイトは私以外、全員社会人で年齢層が幅広い印象です。

「メキシコで働くため」「メキシコ人と結婚してメキシコに住むことになった」「将来メキシコに住みたい」「スペイン語を勉強したい」・・・など、CEPEに通う目的も人それぞれです。

授業では、グループワークが多く、習った文法をすぐに話して、実践できるという点が、これまで日本で受けてきた言語の授業にはなかったのが新鮮で楽しいです。「あなたの国ではどうなの?」と教科書にあるテーマに沿った話だけでなく、「あなたの国はどんな所?」「食べ物は何が美味しい?」「おすすめの観光地は?」など、それぞれの国のことについて気になった質問など、色々な話題を通じてメキシコ以外の国のことも知ることができています。

また、スペイン語の授業以外に、ダンス、劇、歴史などの cultura (文化) を学べる授業を履修できます。今学期はメキシコシティの歴史の授業を選択しました。難しい単語が多く、理解するのが大変ですが、スペイン語を学ぶと同時に、メキシコシティの歴史も学ぶことができるので非常に興味深い授業です。

CEPE の授業は、午前と午後のどちらかを選ぶことができ、私は午前の授業を選択しています。午後の時間は、カフェで勉強したり、同じ CEPE に通う学生とサッカーをして遊んだり色々な人と交流できています。最近は、色々な店に行ってタコスを食べることがマイブームです。タコスなどメキシコ料理については、今後のレポートで紹介できたらと思います。



CEPE の教室



放課後に大勢でやるサッカー



先生の誕生日をサプライズでお祝いしました。

日系人のサッカーチームに参加

11月から毎週土曜日に、日系人のサッカーチームの練習に参加しています。

広島県人会の方の紹介で、参加することになりました。

日系人は中高生が中心で、日本語を話せる人は少なく、基本的に会話はスペイン語で行われます。また、コーチはイギリス人でスペイン語を話さないの
で、指導は全て英語。メキシコに来てから英語を使う機会がほとんどなかった
ため、英語に触れる機会があるのは有難いと感じています。

サッカーのプレー中に使う単語は基本的に簡単なものばかりですが、言葉を考えて話す日常会話とは違い、サッカーは咄嗟の判断で言葉を発する必要があります。簡単な単語でも咄嗟の判断だと話すのが難しくなるとサッカーを通じて痛感しました。スペイン語も英語もまだまだ覚えなければならない単語が沢山ありますが、今知っている単語を理解するだけでなく、体に染みつかせていくことも重要だと感じました。

メキシコシティは標高が高いこともあって、どの練習もハードに感じるので、メキシコに来て勉強と食べることしかしていなかった私にとっては良い運動となりそうです。



日本人学校リセオでのサッカーの様子

ニュースから感じたメキシコ

家ではよくテレビを見ているのですが、メキシコのテレビは日本と違う所が沢山ありました。特に驚いたのは、日本ではテレビのゴールデンタイムとされ

る 19 時から 22 時では、バラエティー番組が多く放送されている印象ですが、メキシコのテレビはニュースかドラマ。バラエティー番組はたいてい昼に放送されています。ニュース番組の映像は、防犯カメラか SNS の投稿で話題になったものばかりで日本とは違った雰囲気の報道の仕方だと感じました。

最近になってようやくニュースの内容が少し理解できるようになってきたため、以前よりもメキシコのニュースに関心を持つようになりました。

数多くのニュースの中で、1 月に一番報道されたと思われるものがありました。「公共の場での禁煙」です。

今月の法改正で、公園やレストランなどの全面禁煙とたばこ製品の宣伝等の禁止が定められました。施行された直後は喫煙者を見るのがなくなりました。そのことをホストマザーに言うと「最初の 1 週間でみんな法律のことを忘れるよ」と言っていました。その言葉を疑いながら過ごしていましたが、3 週間ほど経った今、少しずつ喫煙者を見るが多くなり、ホストマザーが言っていた通りになりました。

法律には定められているものの、メキシコではたとえ警察官に見つかったとしても、賄賂を渡せば、見逃してくれる警察官が多いそうです。これはたばこに限った話だけでなく、車の運転の違反や薬物使用にも当てはまることだとよく聞きます。また、街ではよく警察官を見るがありますが、勤務中にも関

わらず、携帯を見ていたり、お菓子を食べていたりとは日本では考えられない光景を目にします。

非常に自由で明るいことがメキシコの良いところである一方で、その自由さによって規制が緩くなり、犯罪を生み出しやすくなってしまっているという側面もあることを実感しました。



禁煙に関するニュースのテレビ画面



警備中に携帯を触る警察官

1月もあっという間に過ぎてしまい、2月は学校の期末試験とその後のグアナファト研修があります。充実した時間を過ごせるように1日1日を大切にしていきたいです。